

4

ざっくり 聖書入門

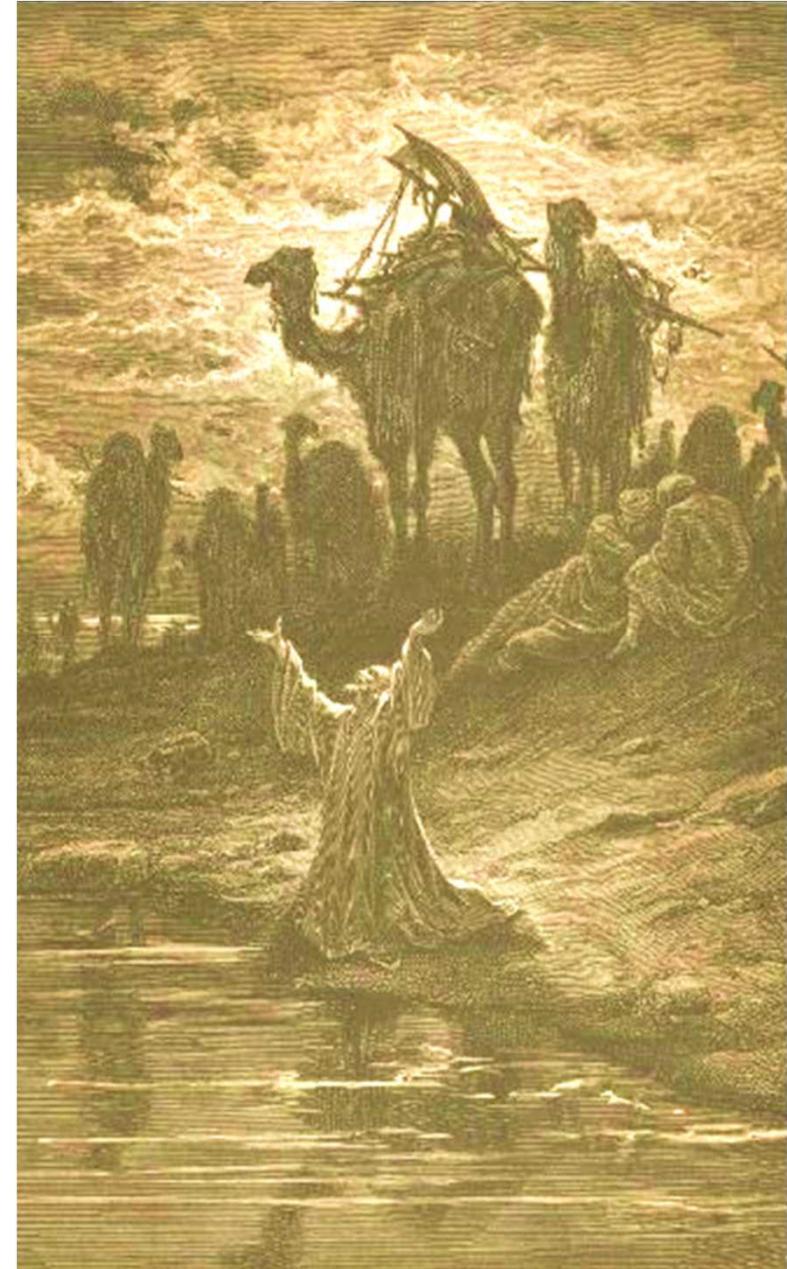
「ヤコブと 12人の息子」

創世記25～50章



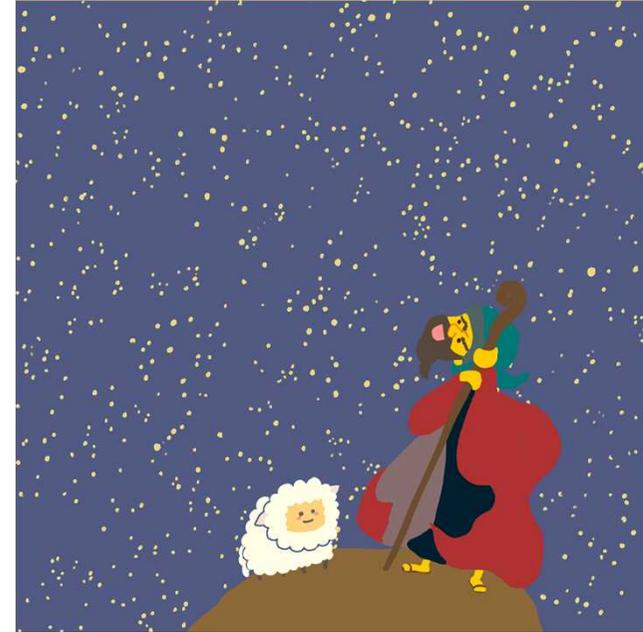
【今日のアウトライン】

- I. これまで学んだ四つの契約
- II. ヤコブの生涯・前編
旅立ちから、神との和解まで
- III. ヤコブの生涯・後編
ヤコブの12人の息子たち
- IV. ヤコブを守り、導いた
「アブラハム契約」
- V. ヤコブが見たメシアの影



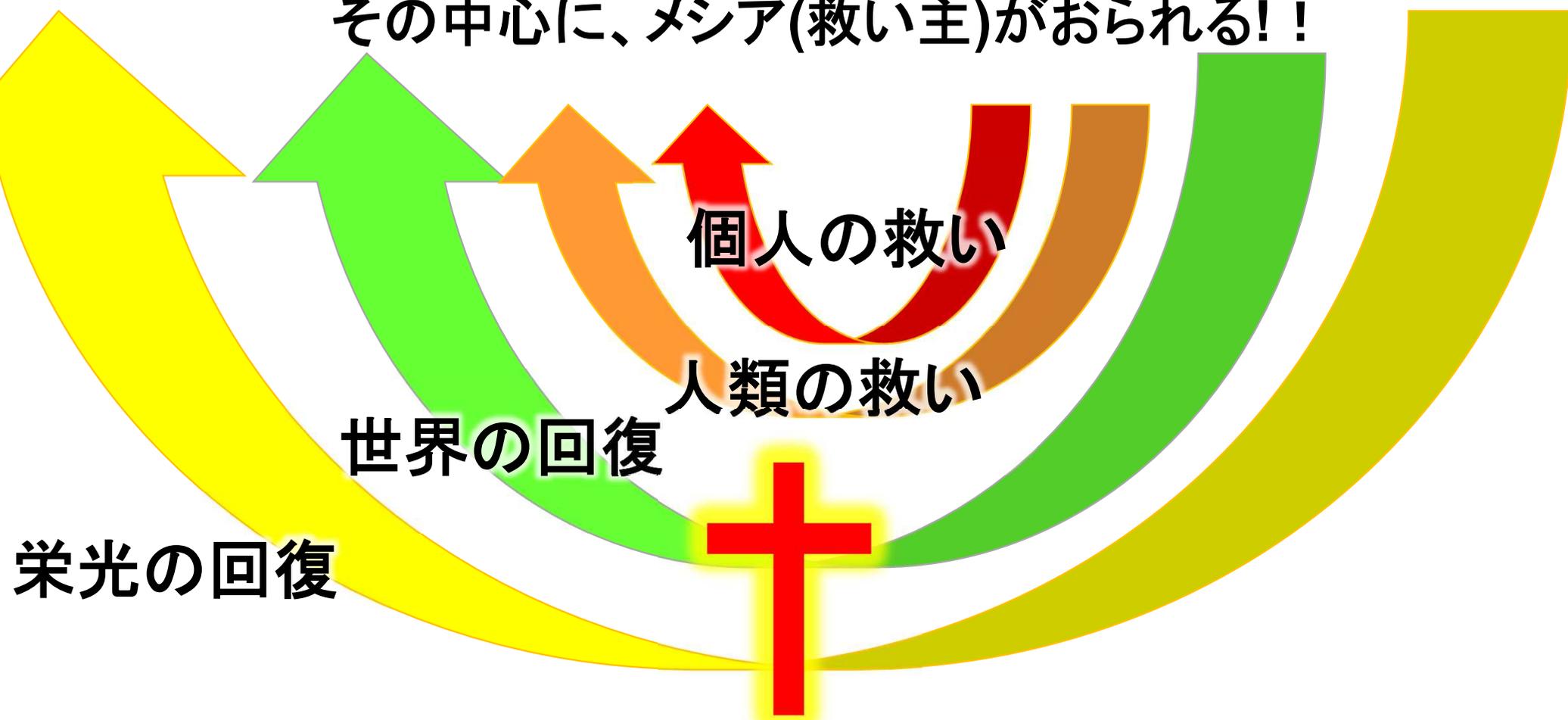


I. これまで学んだ 四つの契約



聖書の最大のテーマは、「神の栄光の回復」

世界に神の栄光が回復される時、すべて回復される。
その中心に、メシア(救い主)がおられる!!





謎解きのカギは？

聖書は、「メシア(救い主)」を
めぐるミステリー!!

メシアとは？

誰か？

いつ現れるのか？

どこで生まれるのか？

何をされるのか？

神の約束 = 契約

【最初の契約 ①「エデン契約」】

対象:最初の人アダム(人類代表として)

内容:地の祝福。人類の祝福。
人類の地の統治権。

唯一の禁止命令:

...善悪の知識の木の実を食べるな。

目的:統治権をめぐる人類のテスト。
一定期間守れば合格だったが...



The image features a dramatic sunset background with a large, dark silhouette of a tree in the center. A snake is coiled around the tree's trunk. In the foreground, the silhouettes of a man (Adam) and a woman (Eve) stand on either side of the tree. The text is overlaid on this scene in a white, glowing font.

【無垢の時代の結末】

アダムとエバは、蛇(サタン)にそそのかされ、
善悪を知る木の実を食べてしまった。

人間は、地の統治権は失い、神と断絶された。

【最初の救いの約束 ②「アダム契約」】

対象: アダム・人類全体

内容: 罪の結果の呪い。楽園からの追放。

男は労働、女は出産の苦しみ。

霊的死&肉体的死

救いの啓示:

メシアは、女の子孫から生まれる。

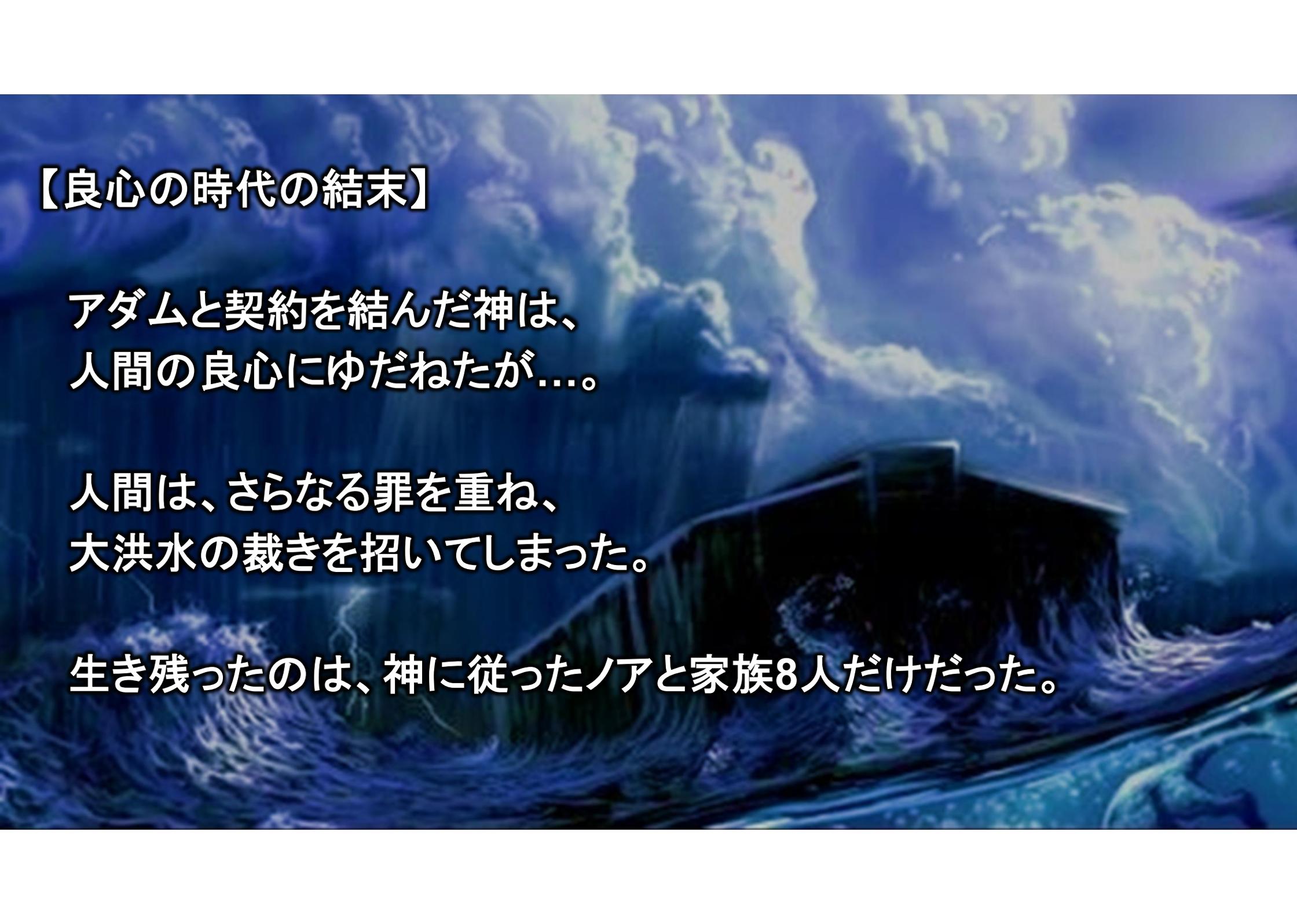
救いの原則:

罪の贖いには、犠牲が必要。

(しかし、動物の犠牲は、一時的)

罪を犯した人間に
救いの約束が!!





【良心の時代の結末】

アダムと契約を結んだ神は、
人間の良心にゆだねたが...

人間は、さらなる罪を重ね、
大洪水の裁きを招いてしまった。

生き残ったのは、神に従ったノアと家族8人だけだった。

【ノア契約 まとめ】

- ★対象... ノア、全人類、全生物。
- ★期間... 永遠
- ★内容...
 - ①地に満ちよ。
 - ②動物たちへの支配権
 - ③肉食の許可
 - ④血を食べることの禁止
(命の大切さを教える。)
 - ⑤死刑制度が立てられる。
 - ⑥大洪水は二度と起こさない。
- ★しるし... 虹

大洪水後の世界を守り、
命の大切さを教える





【人類統治の時代の結末】

神は、人間の組織(国)に、
世界をゆだねたが...

人間は、悪を重ね、
巨大な塔を築き、
自らが神になろうとした。

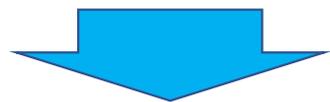
神は、言葉をバラバラにし、
人間は、世界に散らされた。

【創世記11章までに明らかになったこと】

①人類は、たった一つの約束も守れなかった。



②人類は、**良心**によって、世界を正しく治めることはできなかった。



③人類は、**組織**によっても、世界を正しく治められなかった。

人間は、自分の努力で、神との平和を作り出すことはできない!!
人類の希望は、神が約束された女の子孫(メシア)にある!!

神の計画が、いよいよ、アブラハムから動き出す!!

【アブラハム契約とは？】

■聖書全体を貫く、大原則

神の世界回復と人類救済計画の柱

【三つの主な条項】

①子孫の約束

②土地の約束

③祝福(地上の諸民族の祝福)の約束

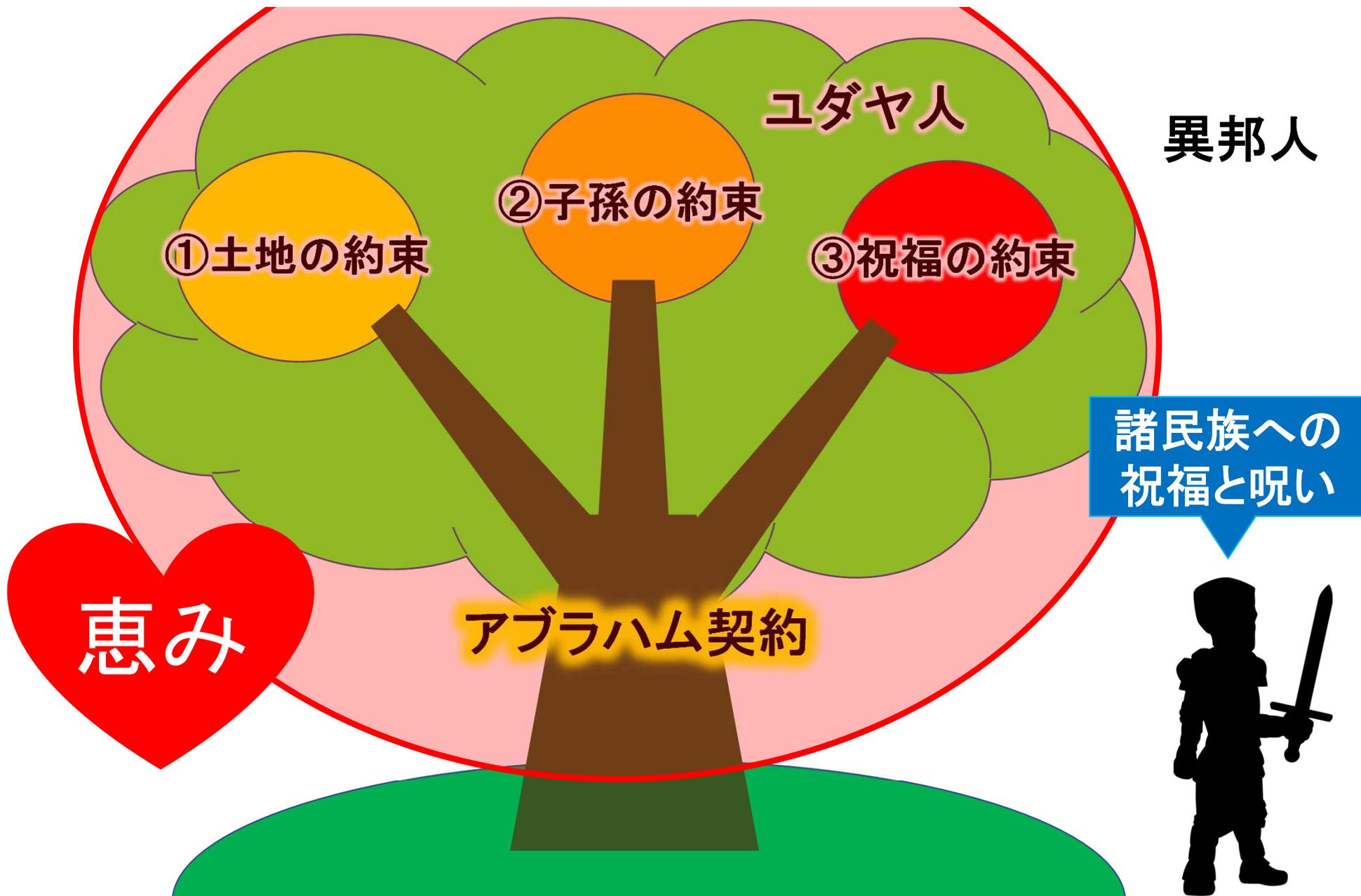
※付帯条項 ...祝福と呪い。イスラエルの生存保証。

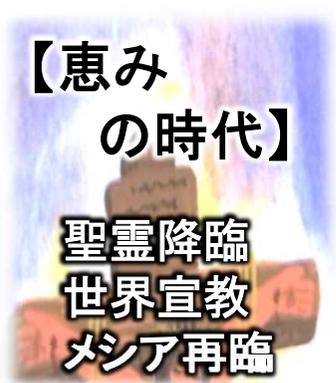
※しるし ...割礼

神の契約が、
アブラハムと子孫を
守り、導く



【アブラハム契約】





【恵みの時代】

【良心の時代】

【人類統治の時代】

【約束の時代】

【律法の時代】

【恵みの時代】

【御国の時代】

天地創造

墮罪
~大洪水

バベルの
塔事件

アブラハム
~ヤコブ

イスラエル
王国時代
メシア初臨

聖霊降臨
世界宣教
メシア再臨

千年王国
大審判
新天新地

①エデン
契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

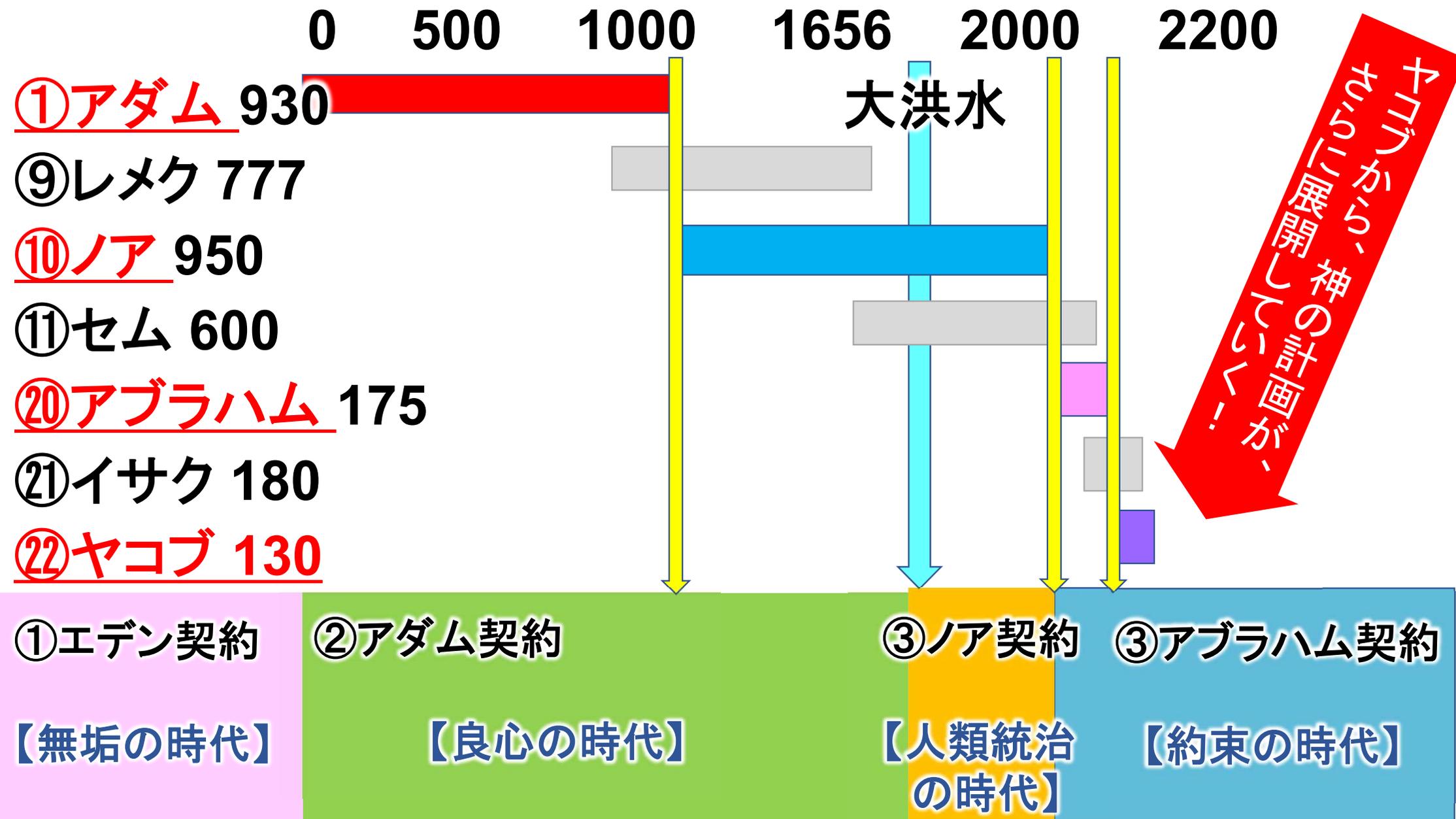
⑧新しい契約

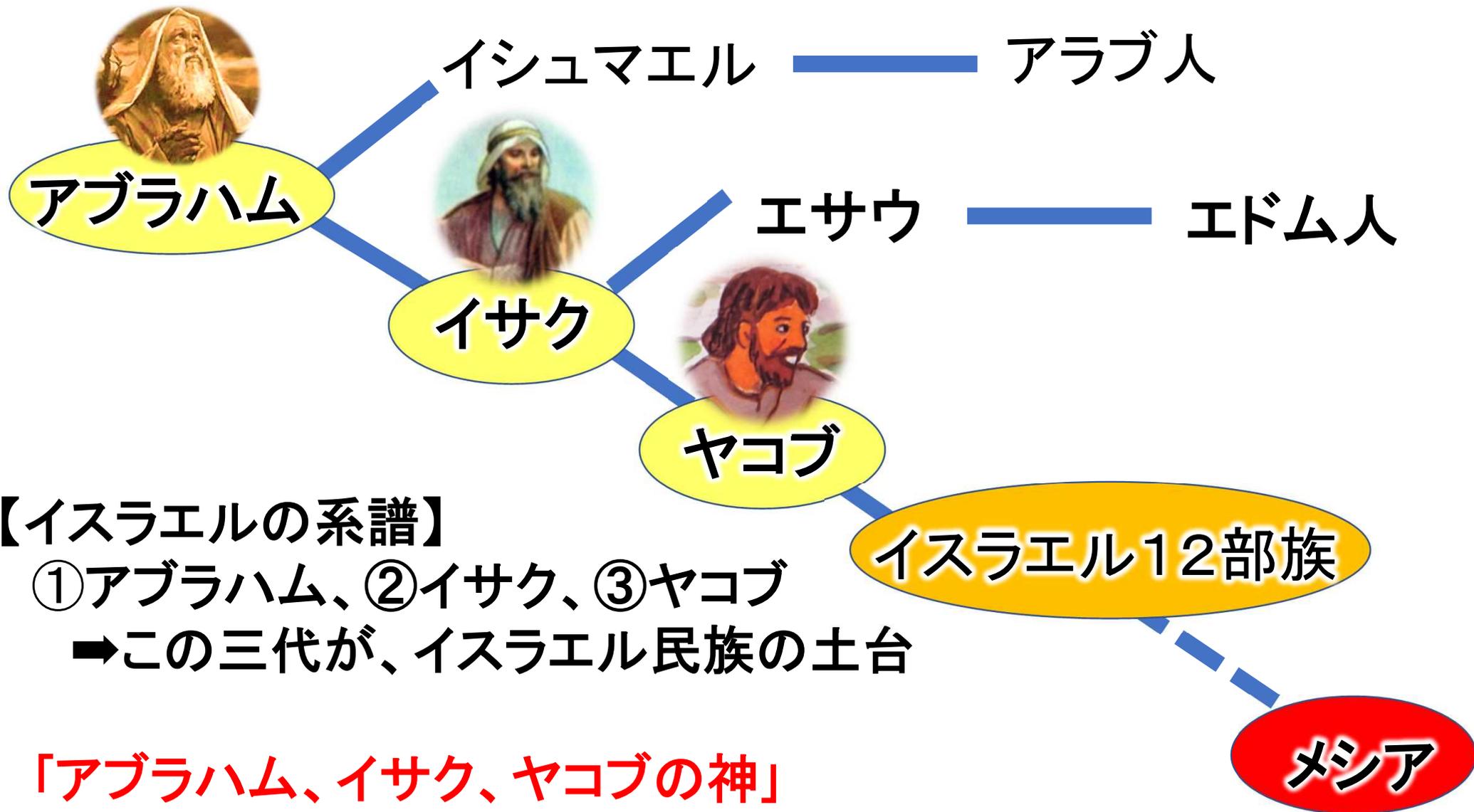
神の約束が、人類と世界の歴史を導く!!

過去

現在

未来





【イスラエルの系譜】

①アブラハム、②イサク、③ヤコブ

➡この三代が、イスラエル民族の土台

「アブラハム、イサク、ヤコブの神」

= 聖書の神のフルネーム

【初代・アブラハムとは？】

■75歳の時、神の命令に答えて、約束の地へ。

■神の約束を信じ、神と契約を結ぶ。

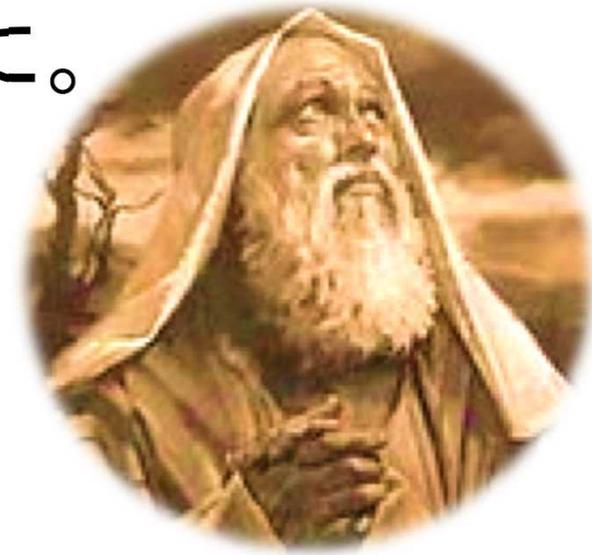
この「**アブラハム契約**」が、以降の契約の礎となる。

■時に失敗を重ねながらも、信仰を成長させ、「神の友」と呼ばれる、偉大な信仰者に。

■イスラエルの父。諸国民の父。

今では、ユダヤ教、キリスト教、

イスラム教の先祖として讃えられる。



【二代目イサクとは？】

- アブラハム100歳の時に生まれた約束の子。
アブラハムに与えられた神の契約を継いだ。
- 父と同じ失敗をしたこともあったが、
約束の地を離れず、とどまりつづけた。
争いを好まない平和と忍耐の人。
- 40歳で結婚。妻は、リベカ。
60歳の時、ようやく子を授かる。
生まれてきたのは、双子だった。



Ⅱ. ヤコブの生涯・前編

旅立ちから
神との和解まで



【格闘から始まったヤコブの人生】 創世記25:19～26

■ 母リベカの胎内にいるときから、争っていた双子。
神は、最初から弟を、契約の後継者に決めていた。

■ 兄エサウのかかとをつかんで
生まれてきたのが、
■ 弟ヤコブ(かかとをつかむもの)。

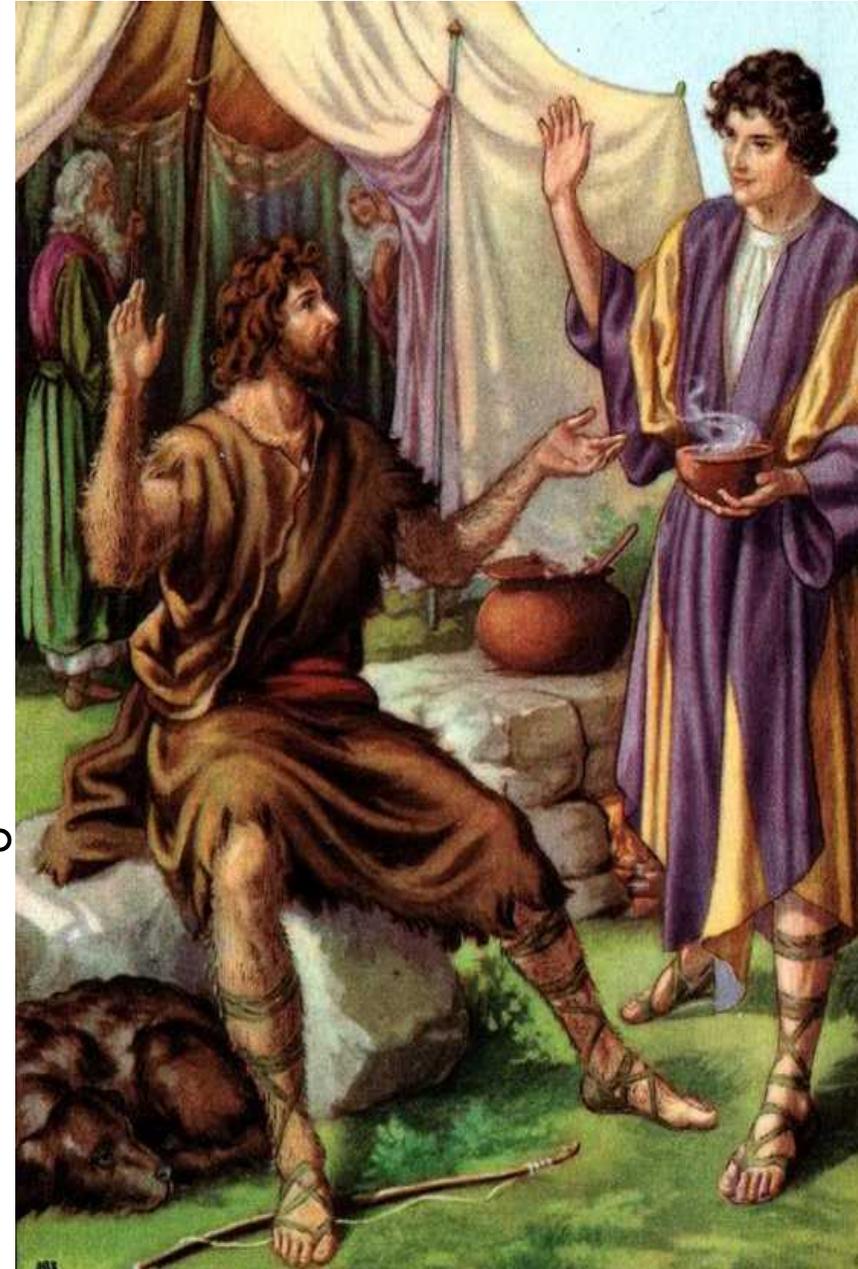
■ 猛々しい兄エサウは、腕利きの狩人になり、
■ 弟ヤコブは、家で働くことを好んだ。



【豆スープ事件】 創25:29~34

- ヤコブは、豆スープと引き換えに、
兄エサウから長子の権利を得た。
- エサウは長子の権利を軽視した。

- 神は、最初からヤコブを選んでいて
- しかし、自分でやらずに
いられないのが、ヤコブ。



【イサクをあざむくヤコブ】 創27:1～29

- 母リベカは、**弟ヤコブ**を愛したが、
- 父イサクは、**兄エサウ**を愛した。
エサウの獲る鹿肉が大好物だったから。
➡ グルメ過ぎたのが、イサクの弱点？
- 年若い、目も不自由になったイサクは、
兄エサウに長子権を譲ろうとした。
- これを知った母リベカの策略で、
弟ヤコブは、兄エサウになりすまし、
父イサクをあざむき、長子の祝福を得た。



【ヤコブの逃亡】 創27:30～46

- エサウは、ヤコブに殺意を抱き、
ヤコブは一人、嫁探しを口実に、
母の遠い故郷ハランへ逃れた。
- 長子権は、神がヤコブに約束されもの。
→ 自分の策を弄し、父をだましたことが、
ヤコブの過ち。
- イサクをあざむく時、
呪いを引き受けると言った母リベカは、
これが、ヤコブとの今生の別れになった。



罪に対する
それぞれの刈り取り

【不思議な夢を見るヤコブ】 創28:10～22

■ 荒野で身を守るすべもなく野宿したヤコブは、不思議な夢を見た。天地をつなぐはしごを天使が上り下りしていたのだ。

■ すると主が現れ、ヤコブに約束された。

- ① アブラハムに約束された地をヤコブが継ぎ、
- ② ヤコブの子孫が増え広がり、
- ③ 子孫から全民族が祝福される(メシア誕生)

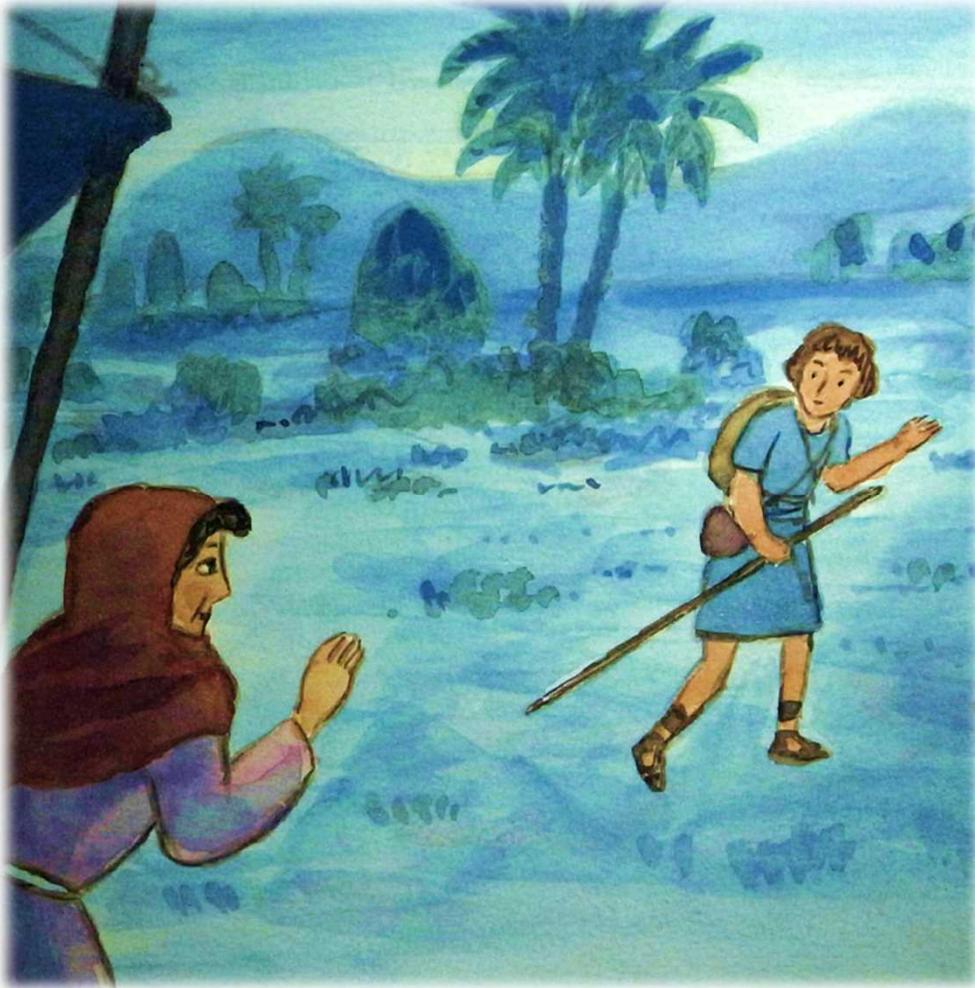
※そして、神がヤコブを守り、再びこの地へ連れ戻す、ということだった。(個人的守り)

はしごは、メシアの型

アブラハム契約が
ヤコブに継承!!



【ヤコブの旅】 母リベカの故郷ハランまでの旅を神に守られたヤコブ。



函館から、知床くらいの距離!! ← 約700kmの道のり

母リベカの故郷ハランにたどり着いたヤコブは、
公共の井戸のほとりで、従兄弟のラケルと初めて出会った。



【ヤコブの結婚】 創29～30章

■ ヤコブは、**ラケル**との結婚を望み、7年間必死に働いたが、強欲な伯父ラケルの策略で、ラケルの**姉レア**とも強制的に結婚。二人分の花嫁料として、14年間ただ働きをした。

■ 姉レアと妹ラケルは争いながら子を産んだ。

★レア ...6人

★レアの奴隷ジルパ ...2人

★ラケル ...2人

★ラケルの奴隷ビルハ ...2人

→ **合計12人**



【叔父ラバンとの確執】

- 伯父ラバンの露骨な妨害にあいながらも、ヤコブは神に祝福され、豊かになっていった。
- ラバンの妬みが極みに達したとき、神は、ヤコブに帰郷を促された。





■伯父ラバンの妨害からも守られ
ヤボクの川岸に、たどり着いたヤコブ。

■川を越えた故郷には、かつてヤコブに
殺意を抱いた、兄エサウが待っている。

■ヤコブは、一人、川岸で必死に祈った。

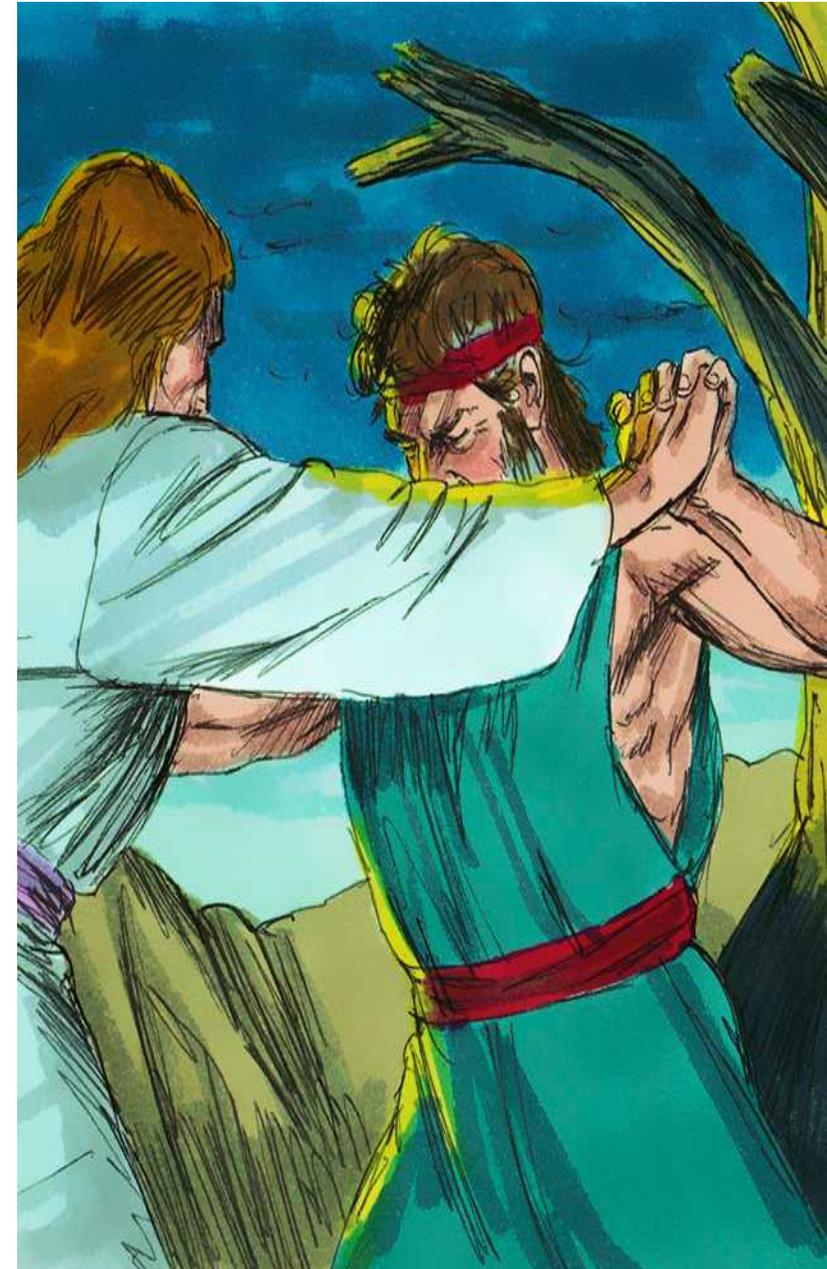
▲
ハラシ

▲ベテル

▲ベエル・シェバ

【神との格闘】 創32:24～25

- 必死に祈るヤコブの前に、一人の人物が現れ、ヤコブと一晩中、格闘した。
- 明け方、その人は、ヤコブのももの関節を外すと、ヤコブの勝ちを認めた。
- この人物の正体は？
➡ 人として現れる前の **メシア(キリスト)**
- 格闘の相手が神だと悟ったヤコブは、執拗に祝福を求めた。



【神との和解】 創32:26～27

■ 神は、ヤコブに新しい名を与えた。

➡「イスラエル(神は戦われる)」

■ 「ヤコブ(かかとをつかむ)」という名の通り、常に何かと闘ってきた生涯において、

■ それでもヤコブは、必死に神を求め続け、神にその信仰を認められた。

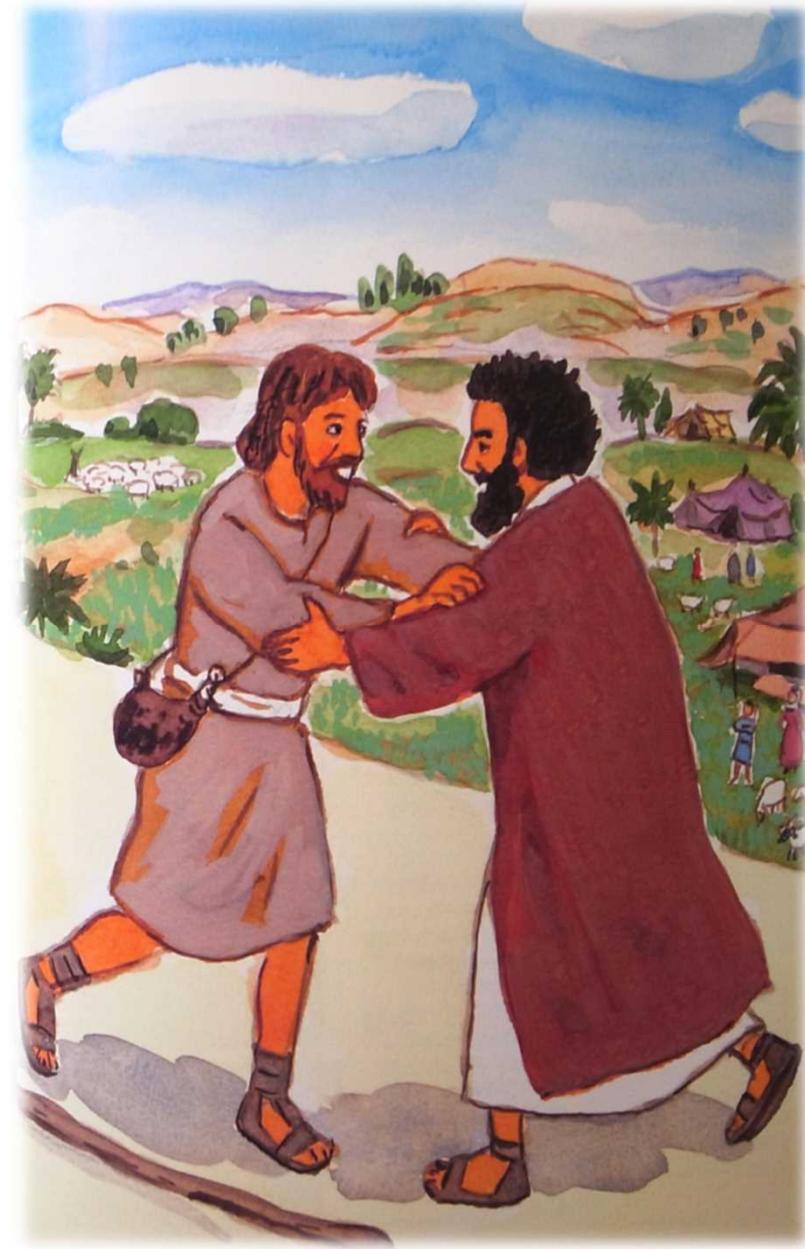
■ 神と戦ってきたヤコブは、
神が共に戦ってくださるイスラエルへと、
変えられた。



【兄との和解】 創世記33:1～4

■そして翌日、ヤコブは兄エサウと再会した。
「ヤコブが目を上げて見ると、見よ、エサウが
四百人の者を引き連れてやって来ていた。
ヤコブ自身は、彼らの先に立って進んだ。
彼は、兄に近づくまで、七回も地に伏して
おじぎをした。エサウは彼を迎えに走って来
て、彼をいだき、首に抱きついて口づけし、
ふたりは泣いた。」

■あっけないほどの兄との和解。
神との戦いが終わったとき、
すべてのことは、すでに決着していた。

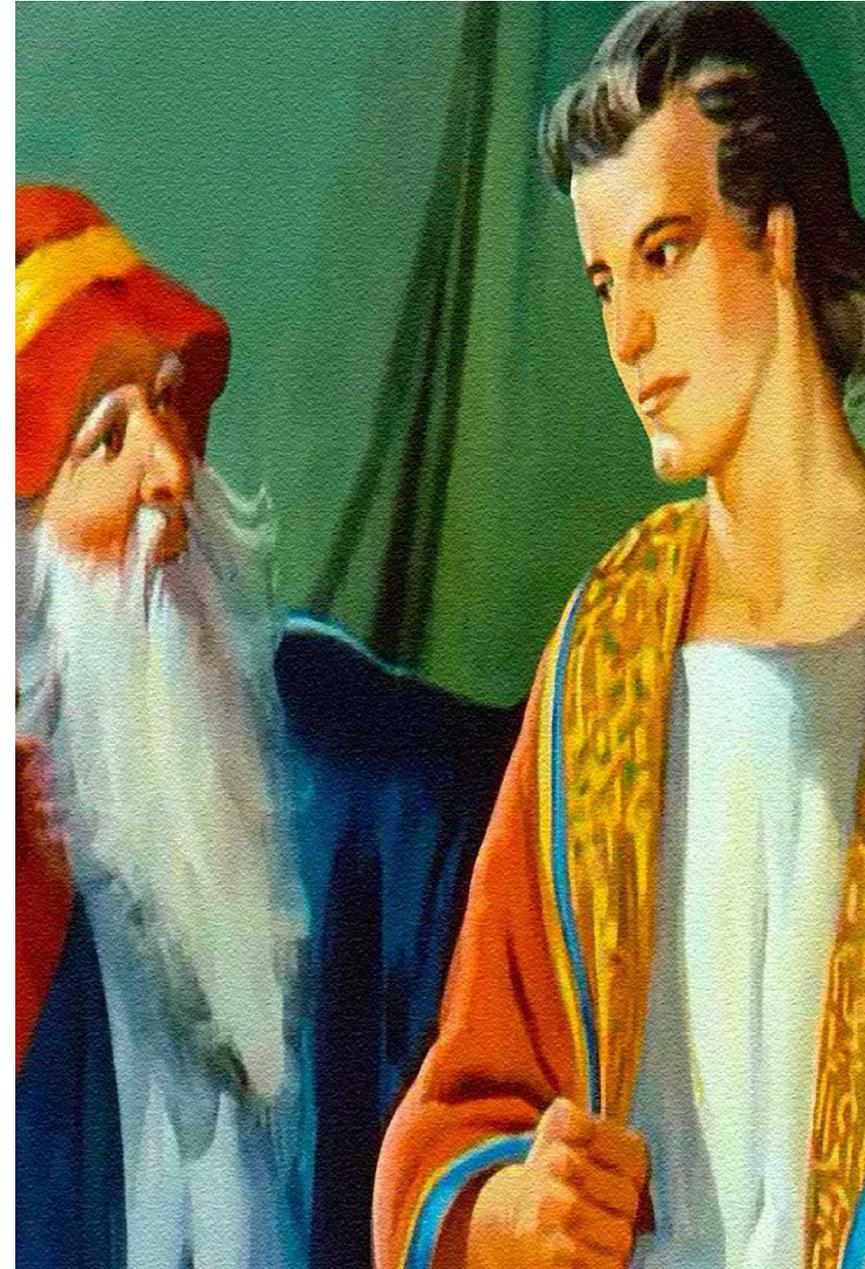




Ⅲ. ヤコブの生涯・後編 12人の息子たち

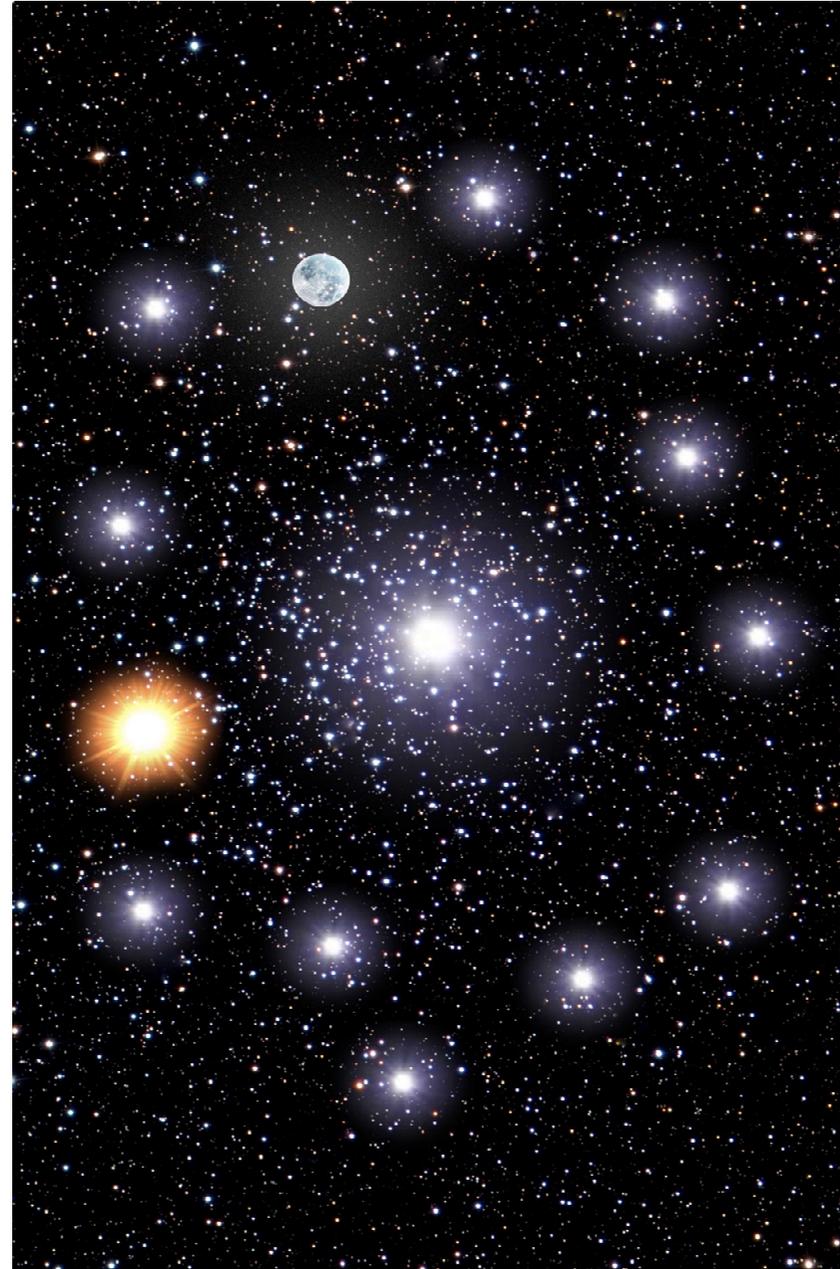
【ヤコブの12人の息子たち】 創37章

- 12人目のベニヤミンが、ラケルから誕生。しかし、出産直後にラケルは死去した。
- ヤコブは、最愛の妻ラケルの初子11番目のヨセフを、一番に可愛がり、長子扱いしていた。



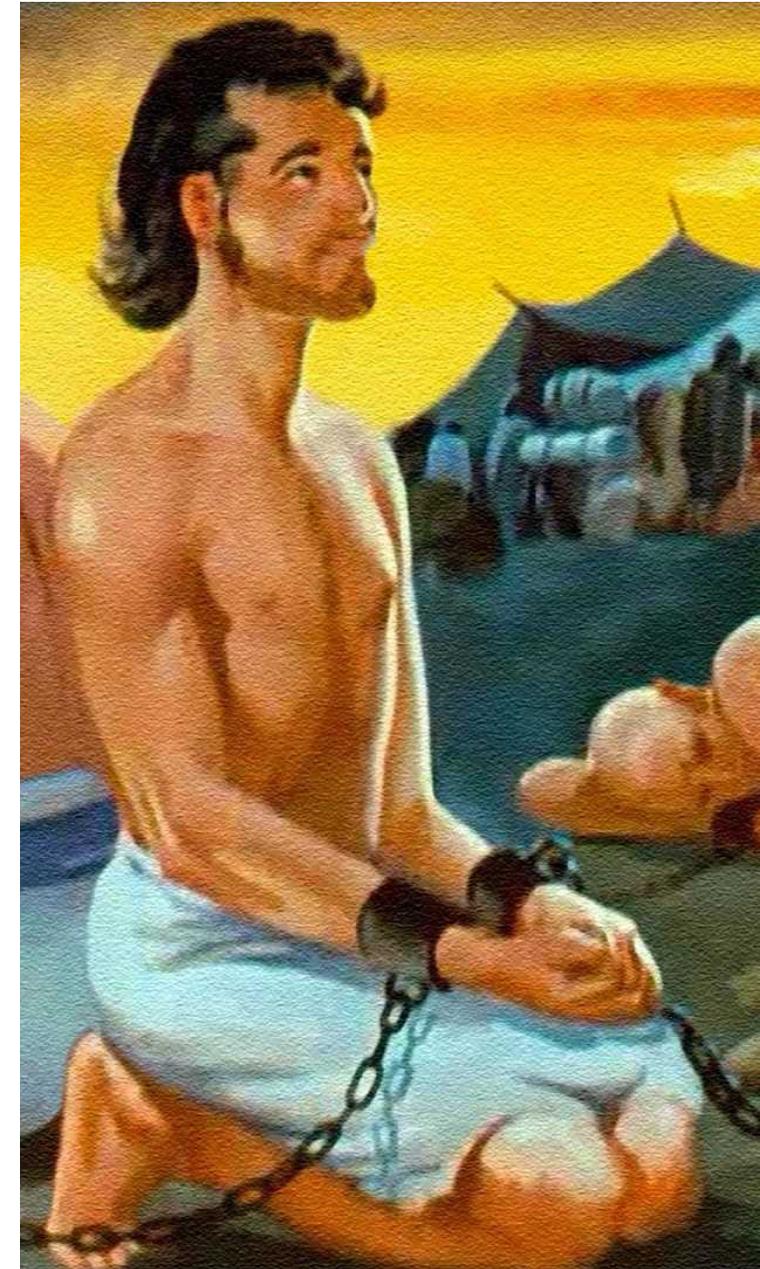
【ヨセフの見た夢】 創37:1～11

- ただでさえ兄たちから妬まれていたヨセフは、ある時、不思議な夢を見た。
- 太陽と月と11の星が、ヨセフにひれ伏す。
 - ➡ その夢は、両親と11人の兄弟が、ヨセフに従うようになることを現していた。



【売り飛ばされるヨセフ】 創37:12～36

- 兄たちは嫉妬に狂い、ヨセフを捕らえ、奴隷に売り飛ばしてしまった。
→ 二番目のユダが、言い出しっぺだった。
- 兄たちは、ヨセフの上着を山羊の血で染め、父ヤコブに渡した。
- ヤコブは、ヨセフが獣に殺されたと思い、嘆き悲しんだ。



【ユダの墮落】 創30章

■ヨセフを売ったその後、ユダは家を離れ、
カナン人の女を妻とした。

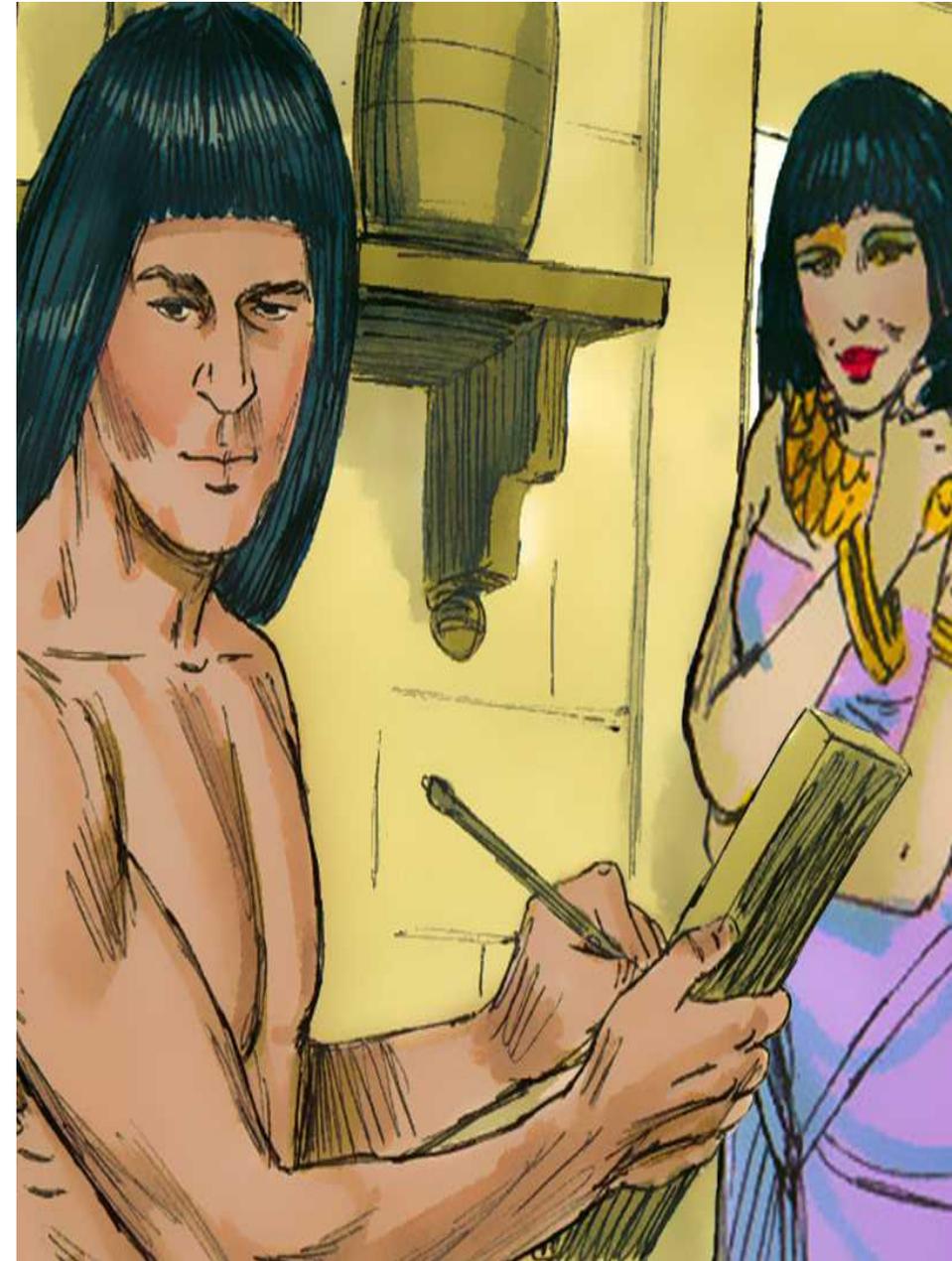
■神に反逆した息子たちは、次々と死んだ。
息子の妻だったやもめタマルは、
舅に見捨てられたと知ると、娼婦になりすまし
ユダと関係を持った。

■タマルの懐妊を知って、激高したユダは、
事実を知り、自分の罪を認めた。



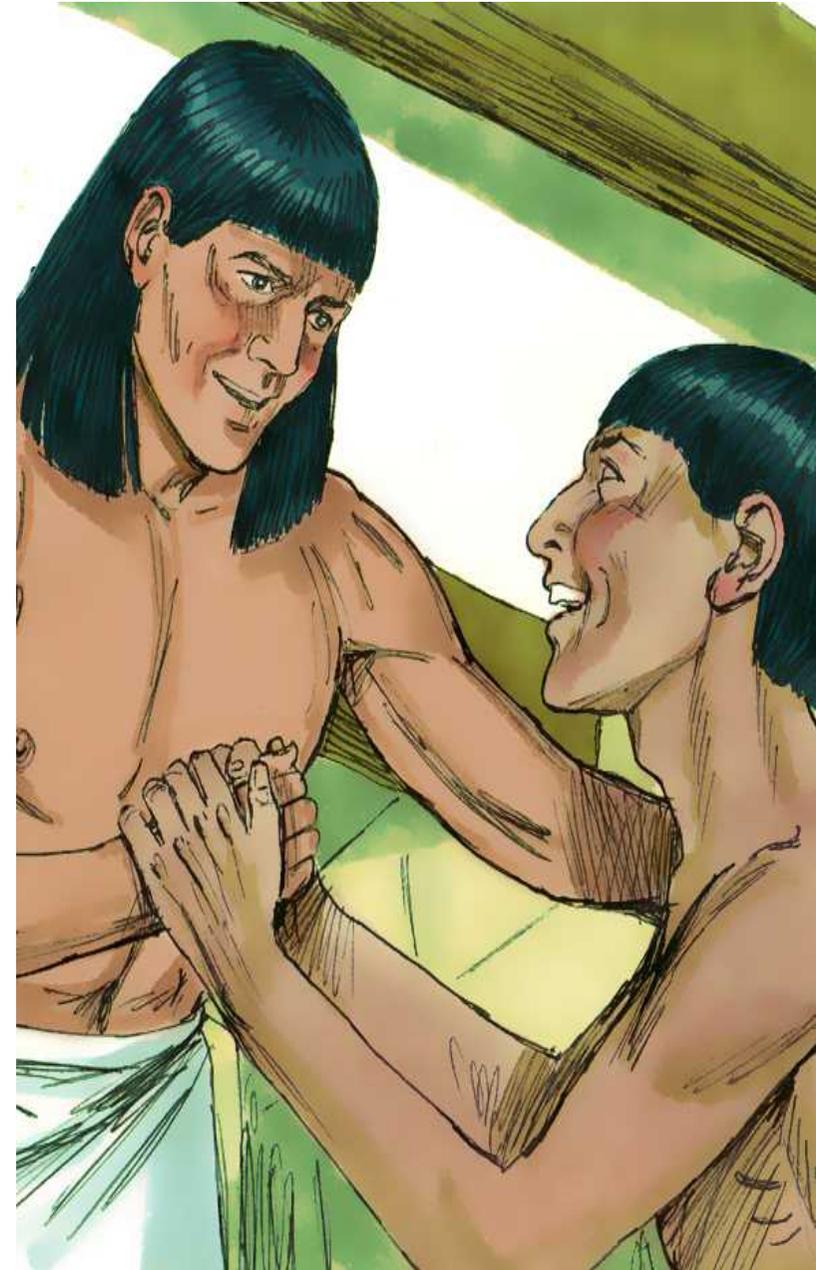
【エジプトでの奴隷生活】 創39章

- エジプトに売られたヨセフは、侍従長ポティファルに信頼され、財産の管理までも任せられた。
- ヨセフは、いつも神に従っていた。
「主がヨセフと共におられた。
創39:2,3,21,23」
- ある時、ヨセフは、主人の妻への強姦未遂の濡れ衣を着せられ、投獄されてしまった。



【牢獄での夢解き】 創40章

- ある日、ヨセフは、パロへの反逆罪で投獄された二人の役人の夢を解き明かした。
- このときも、主なる神がヨセフを助けた。
- 夢の通り、一人は処刑され、一人は嫌疑が晴れて、パロの側近の儉酌官に復職した。
- しかし、復職した儉酌官は、ヨセフのことは忘れてしまった。



【エジプト王パロの夢】 創41:1～13

■ 2年後。パロが不思議な夢を見た。
7頭の肥えた牛を、7頭の痩せた牛が
飲み込み、7つの麦穂を、7つの枯穂
が飲み込むという夢だった。

■ エジプト中の誰も、パロの夢を解く
ことができなかった。

■ この時、かつてヨセフに夢解きを受
けた陰酌官が、ヨセフのことを
思い出し、パロに告げた。



【ヨセフ、パロの夢を解く】 創41:14~

■王の前で、ヨセフは夢を解き明かした。

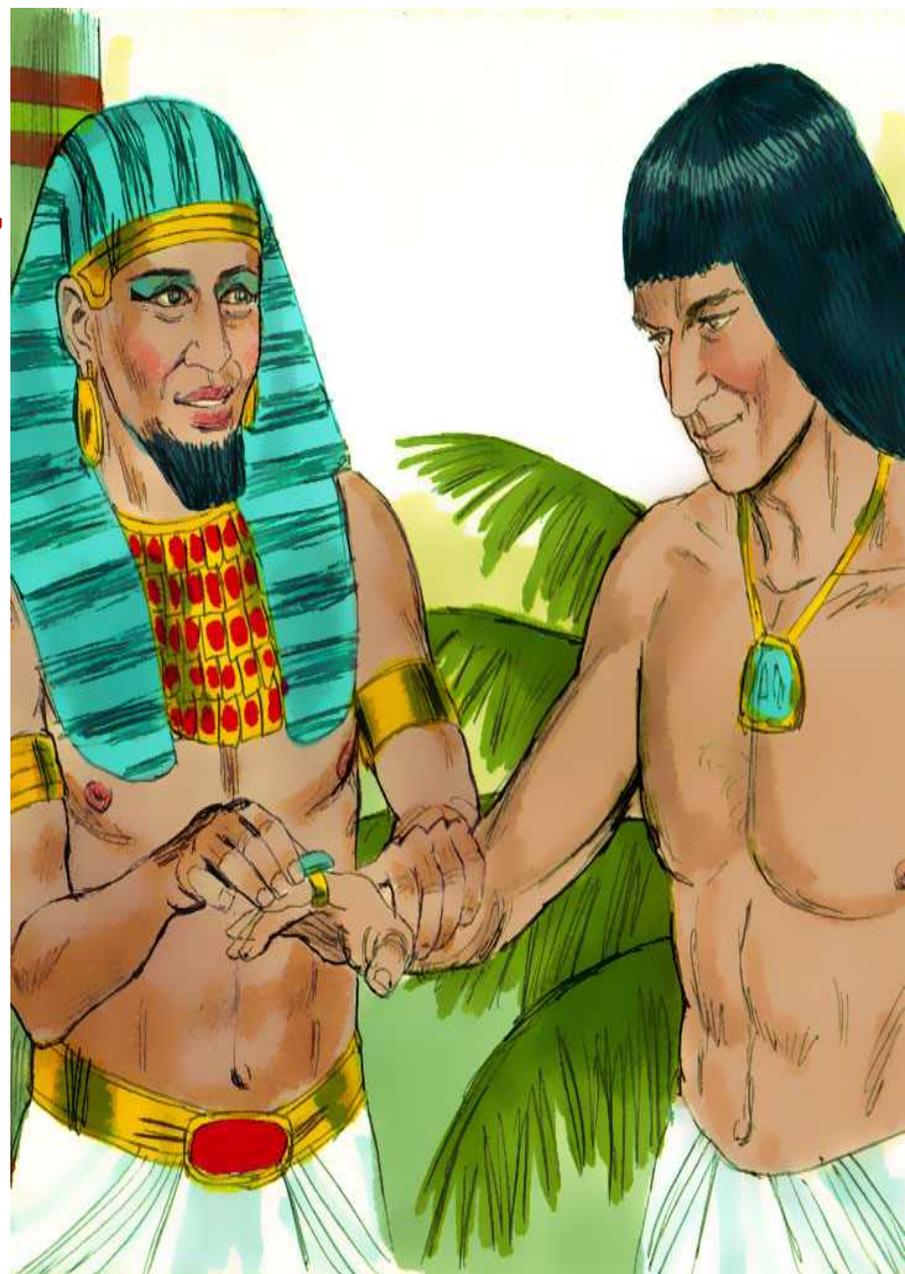
“7年の大豊作の後、7年の大飢饉が来る。”

それが、夢が与えた警告だった。

■さらにヨセフは、
大飢饉に対する食料の備蓄を進言した。

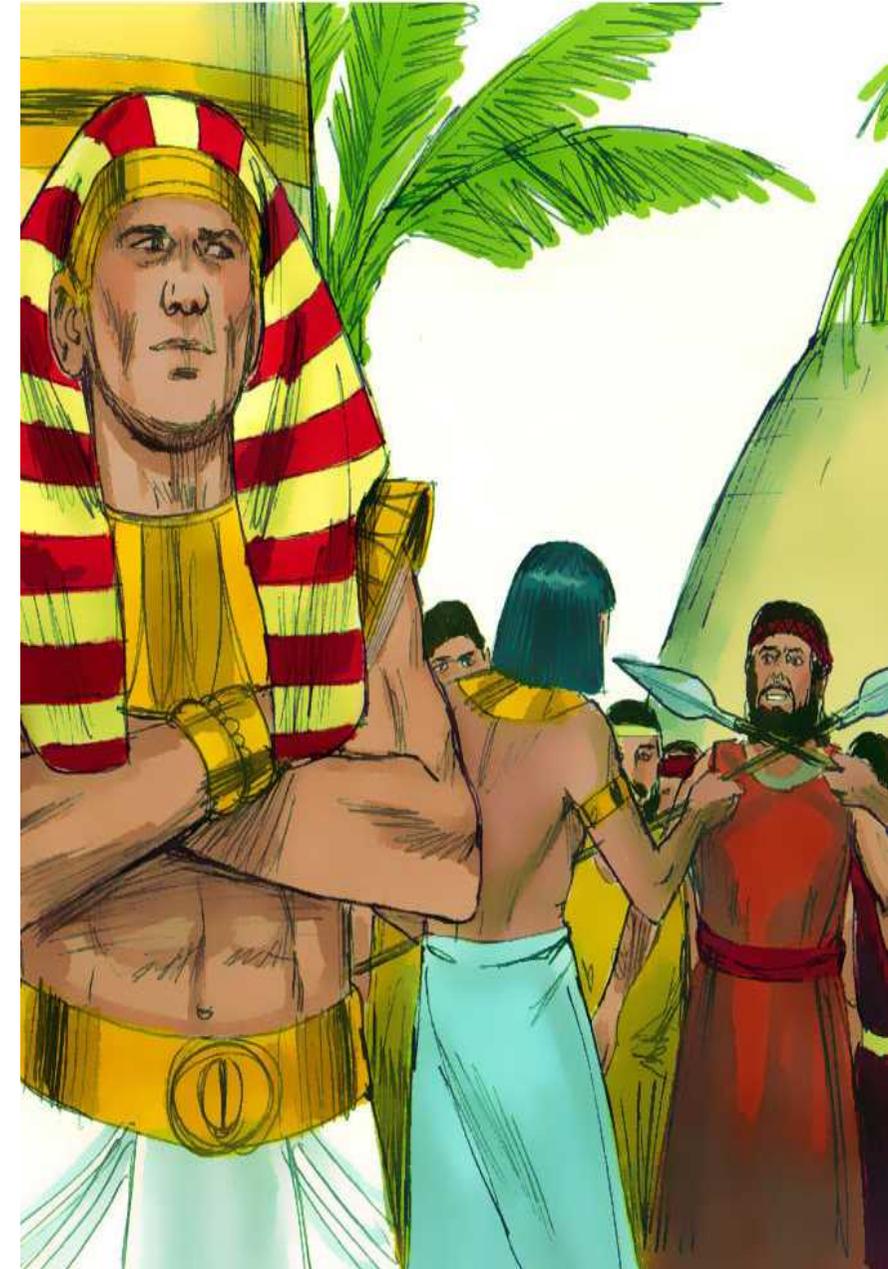
■パロは、ヨセフを認め、
国のナンバー2の宰相の地位に就けた。

■すべてのことを主が導かれたのだと、
ヨセフは、よく理解していた。



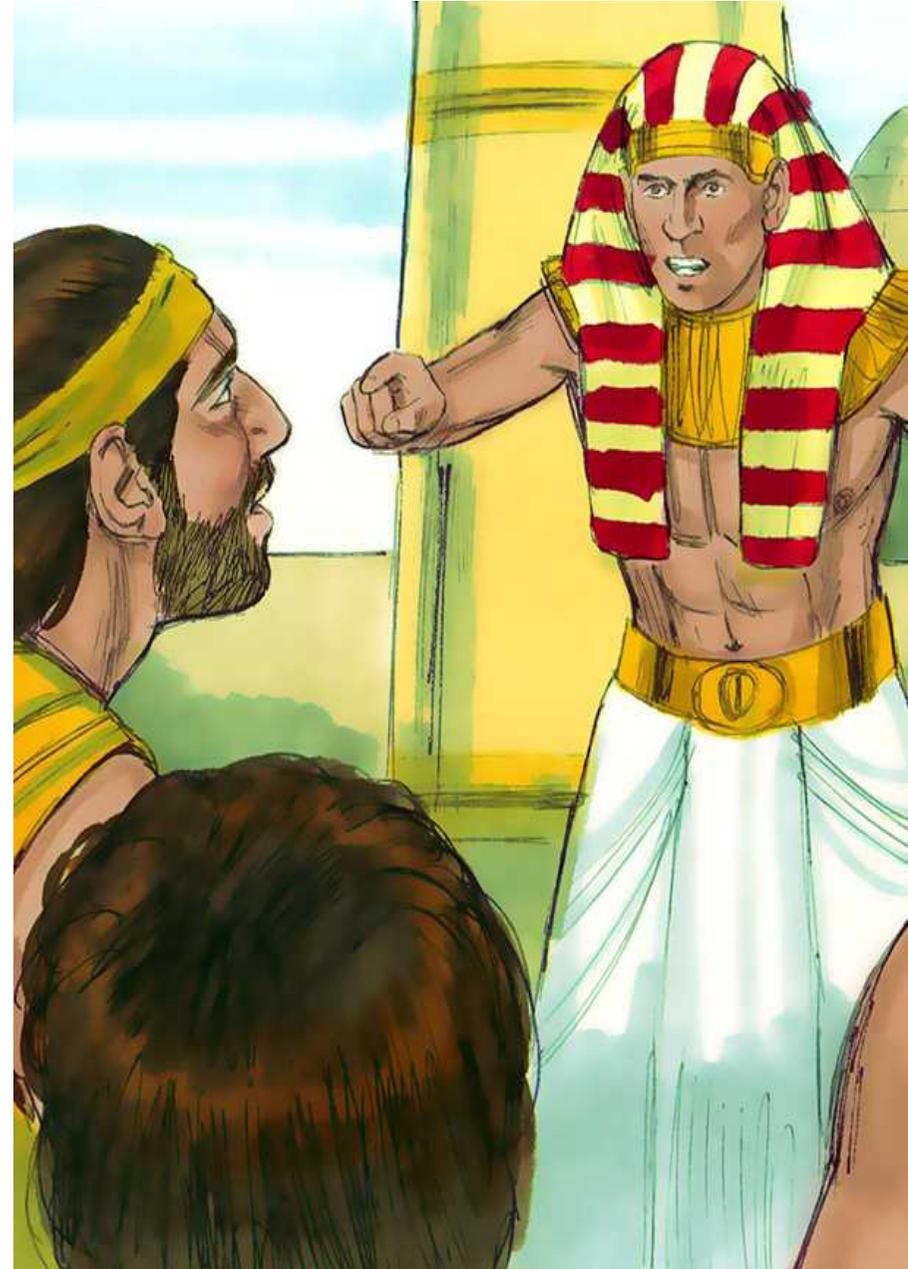
【兄たちとの再会】 創42章

- 8年後、いよいよ大飢饉が始まり、人々が国外からも、食料を求めて集まってきた。
- その中に、ヨセフの10人の兄たちの姿があった。
- ヨセフは、正体を隠したまま彼らに会い、スパイの嫌疑をかけた。
- そして、兄の一人を捕らえると、嫌疑を晴らす条件として、末弟のベニヤミンを連れてくるように命じた。



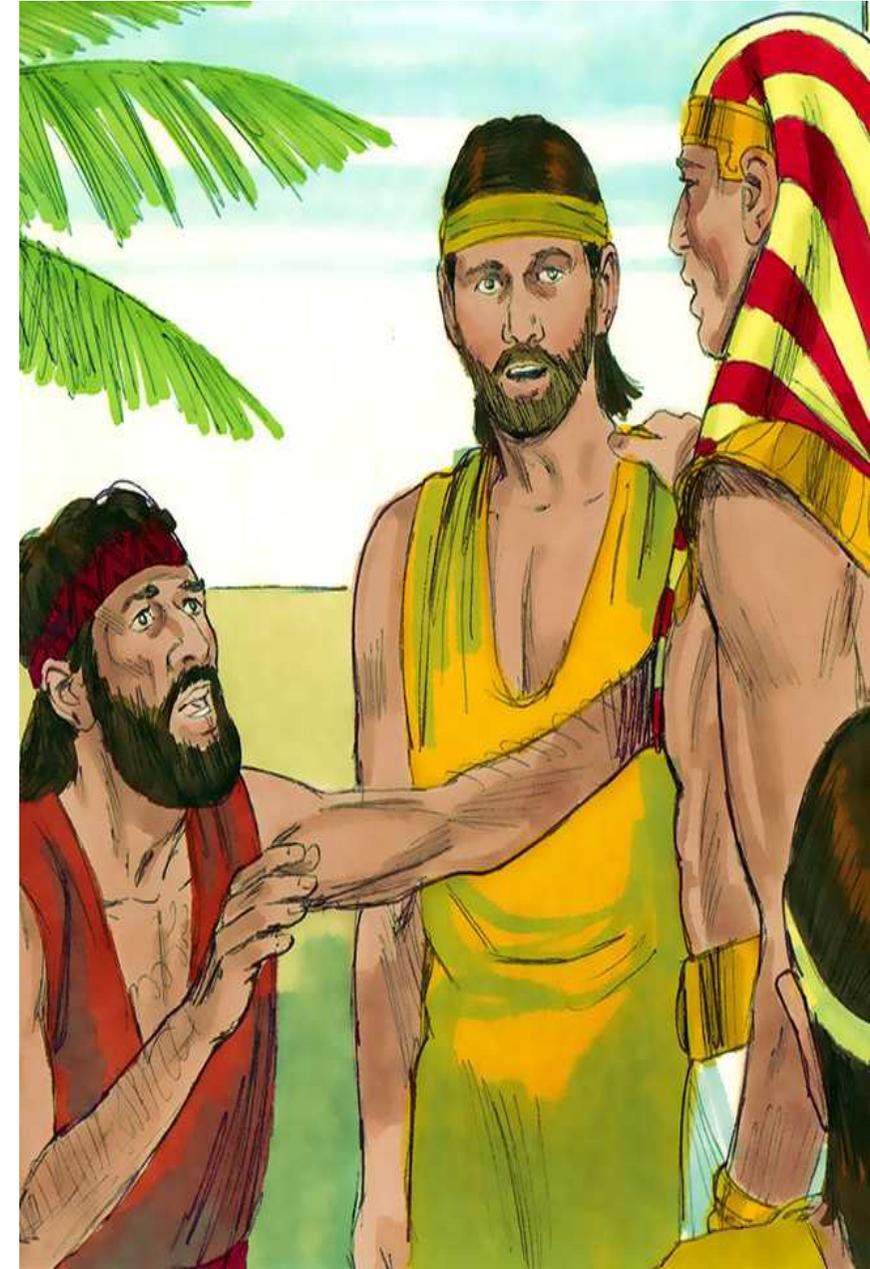
【兄たちの心を探るヨセフ】 創43:～

- 末弟のベニヤミンまでも失うわけにはいかない、と言い張り、拒むヤコブを、体を張って説得したのが、ユダだった。
- 「失うときには、失うのだ」
ヤコブは覚悟し、神に委ねた。
- ヨセフは、戻ってきた兄たちを罫にはめた。
ベニヤミンに盗人の容疑をかけて捕らえ、兄たちは帰ってよい、と言い渡したのだ。
- 兄たちはどうするのか？
ヨセフは、兄たちの心を探っていた。



【ユダの必死のとりなし】 創41:14～

- そこで立ち上がったのが、あの時、ヨセフを売ろうと言ったユダだった。
- ユダは、自分が身代わりになるから、ベニヤミンを解放して欲しいと訴えた。
- 末弟まで失ったら、父は悲しみに死んでしまう。ユダの命がけの訴えだった。
- ヨセフは、もはや平静でいられなかった。



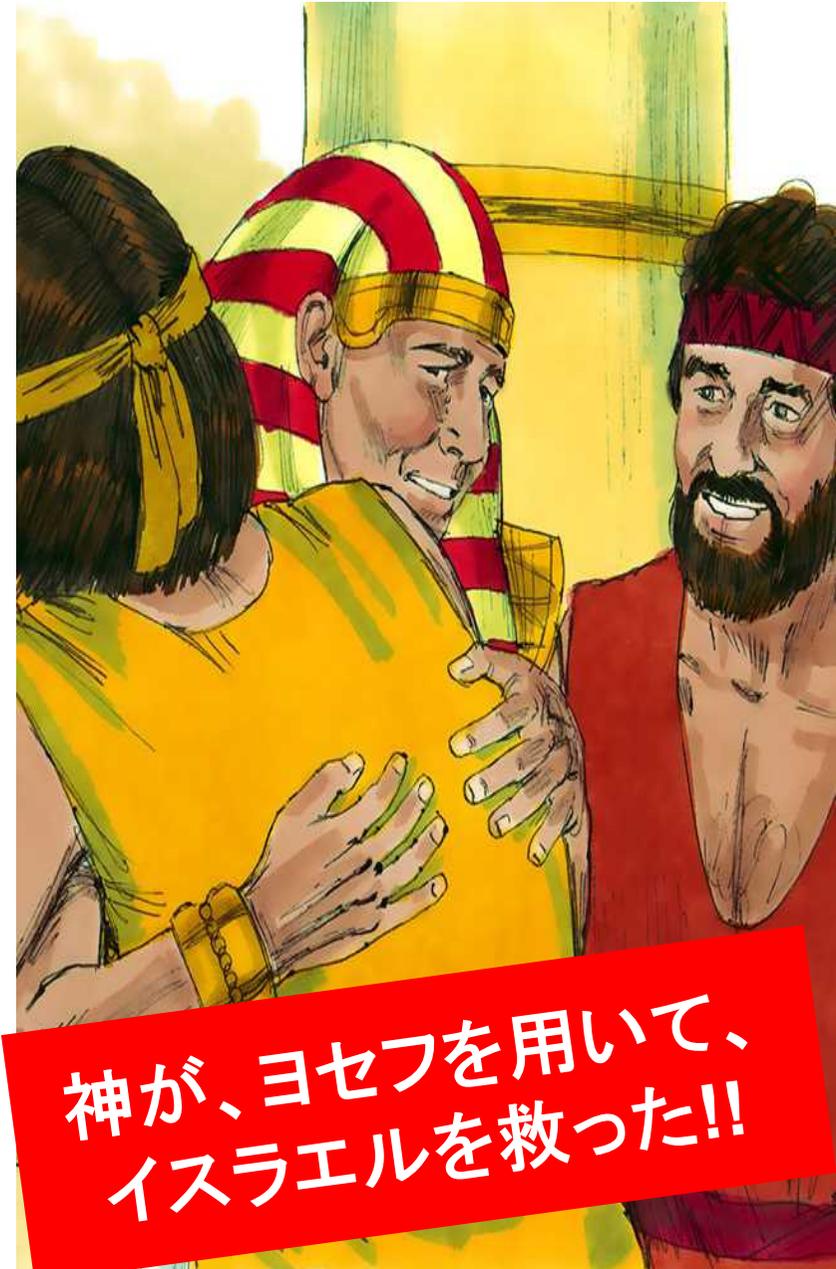
【和解】 創45:5～8

■ヨセフは名を明かし、兄たちに語りかけた。

「今、私をここに売ったことで心を痛めたり、怒ったりしてはなりません。神はいのちを救うために、あなたがたより先に、私を遣わしてくださったのです。

...それは、あなたがたのために残りの者をこの地に残し、また、大いなる救いによってあなたがたを生きながらえさせるためだったのです。

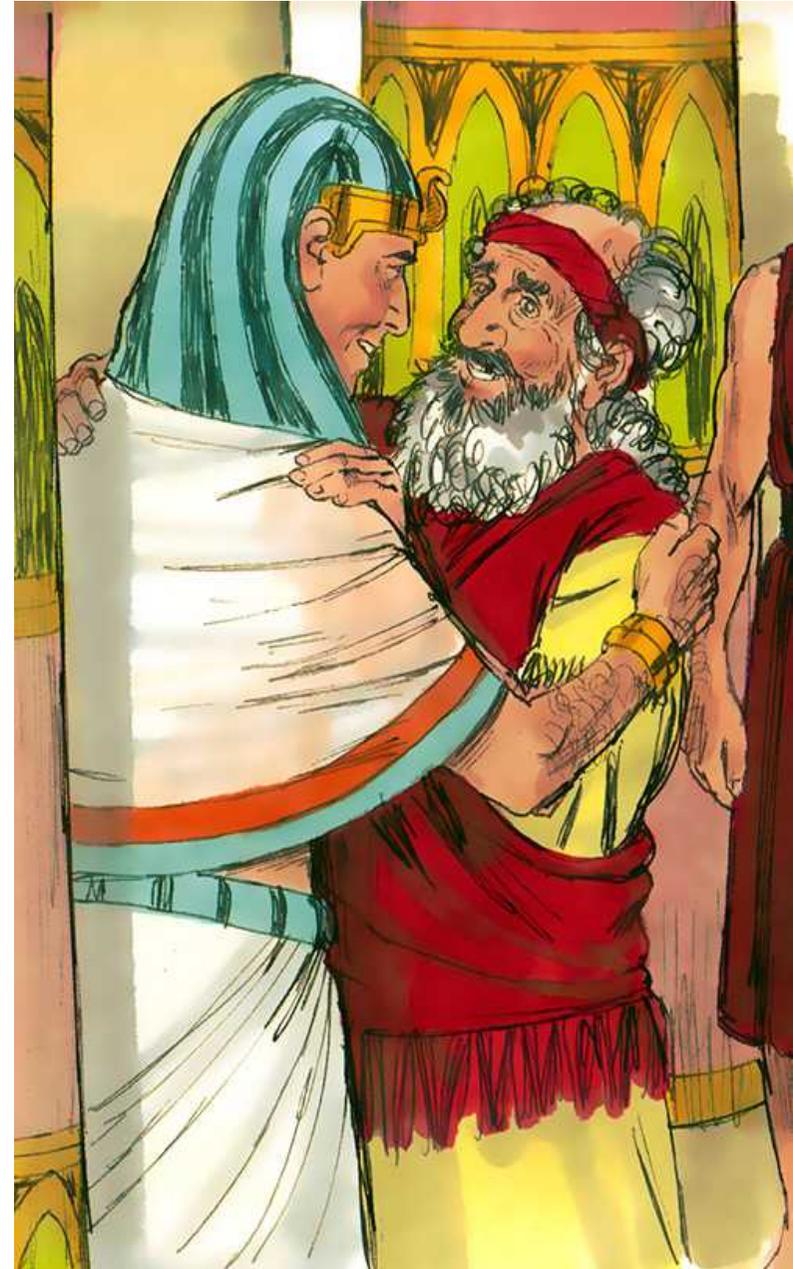
だから、今、私をここに遣わしたのは、あなたがたではなく、実に、神なのです。」



神が、ヨセフを用いて、
イスラエルを救った!!

【父ヤコブとの再会】 創41:14～

- 兄たちは、この喜びの知らせを父に告げた。
ヤコブは、気を失いそうなほどに驚いた。
- まだまだ大飢饉は続く。
- ヤコブは、一族を連れてエジプトに移り、
愛する息子ヨセフと再会を果たした。
- 実に、22年ぶりのことだった。
- ヤコブは、147歳で生涯を終えた。
壮大な葬儀が、約束の地で執り行われ、
遺体は、先祖たちと共にマクペラに葬られた。



IV. ヤコブを守り、導いた「アブラハム契約」



【荒野での神の約束】 創28:13～15

- そして仰せられた。「わたしはあなたの父アブラハムの神、イサクの神、【主】である。
- わたしはあなたが横たわっているこの地を、あなたとあなたの子孫とに与える。
- あなたの子孫は地のちりのように多くなり、あなたは、西、東、北、南へと広がり、
- 地上のすべての民族は、あなたとあなたの子孫によって祝福される。
- 見よ。わたしはあなたとともにあり、あなたがどこへ行っても、あなたを守り、あなたをこの地に連れ戻そう。わたしは、あなたに約束したことを成し遂げるまで、決してあなたを捨てない。」

神の御名の宣言

①土地の約束

②子孫の約束

③祝福の約束

神の守りの約束

アブラハム
契約



【アブラハム契約とは？】

■聖書全体を貫く、大原則

神の世界回復と人類救済計画の柱

【三つの主な条項】

①子孫の約束

②土地の約束

③祝福(地上の諸民族の祝福)の約束

※付帯条項 ...祝福と呪い。イスラエルの生存保証。

※しるし ...割礼

アブラハム契約が、
後継者ヤコブを
守り、導いた。



【アブラハムへの予告】 創15:13~14
「あなたの子孫は、自分たちのものでない国で寄留者となり、彼らは奴隷とされ、四百年の間、苦しめられよう。

しかし、彼らの仕えるその国民を、わたしがさばき、その後、彼らは多くの財産を持って、そこから出て来る」

※ヤコブたちのエジプト移住は、150年前、アブラハムにされた、預言の成就。



400年後、
一大民族に成長した
イスラエルは、
モーセに率いられて、
エジプトを脱出し、
約束の地を目指す。



V. ヤコブが見たメシアの影



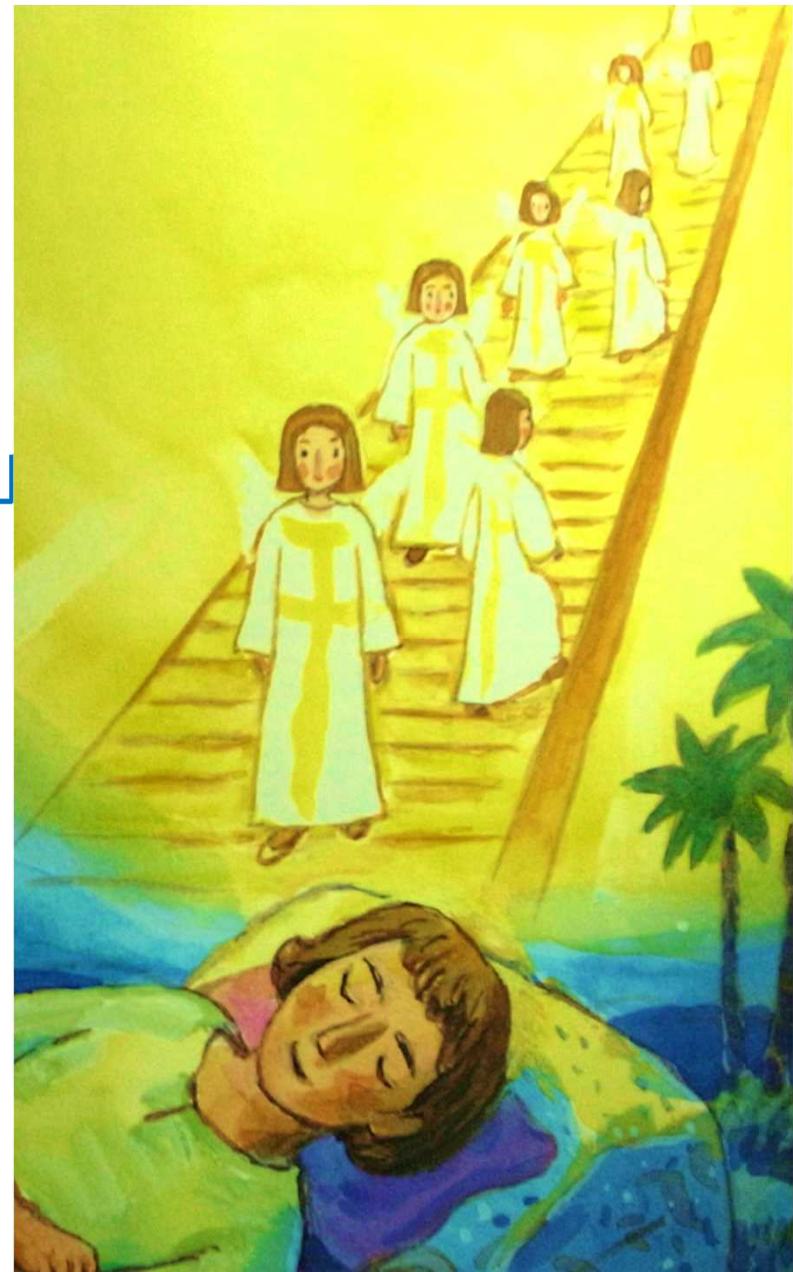
【ヤコブの見た夢の意味】 ヨハネ1:51

■ イエス・キリストによる驚くべき宣言

「まことに、まことに、あなたがたに告げます。
天が開けて、神の御使いたちが人の子の上を
上り下りするのを、あなたがたはいまに見ます。」

■ 天地をつなぐ「はしご」 ➡ イエス・キリスト
罪の隔てを破り、神と私たちをつなぐ方

■ アブラハムの子孫から現れるメシアが、
ヤコブの生涯を守り、導いた。



【ヨセフの生涯に表された、メシアの影】

ヨセフ	メシア(イエス)
主を信頼する正しい人。	罪なき、真実に正しい人。
試練を受け、 奴隷に売られ、投獄された。	受難を通られ、 捕らえられ、十字架にかけられた。
王と同等の権威を与えられた。	父なる神の権威の座におられる。 王の王として再臨し、地を支配する。
イスラエルと世界を 大飢饉から救った。	イスラエルと世界を 滅びから救う。

【ヤコブ(イスラエル)の遺言】 創48～49章

■ ヤコブの遺言は、イスラエル12部族の始祖、12人の息子たちへの神の預言。

①長子としての権利は、ヨセフに継がれ、他の兄弟の二倍の祝福を得た。

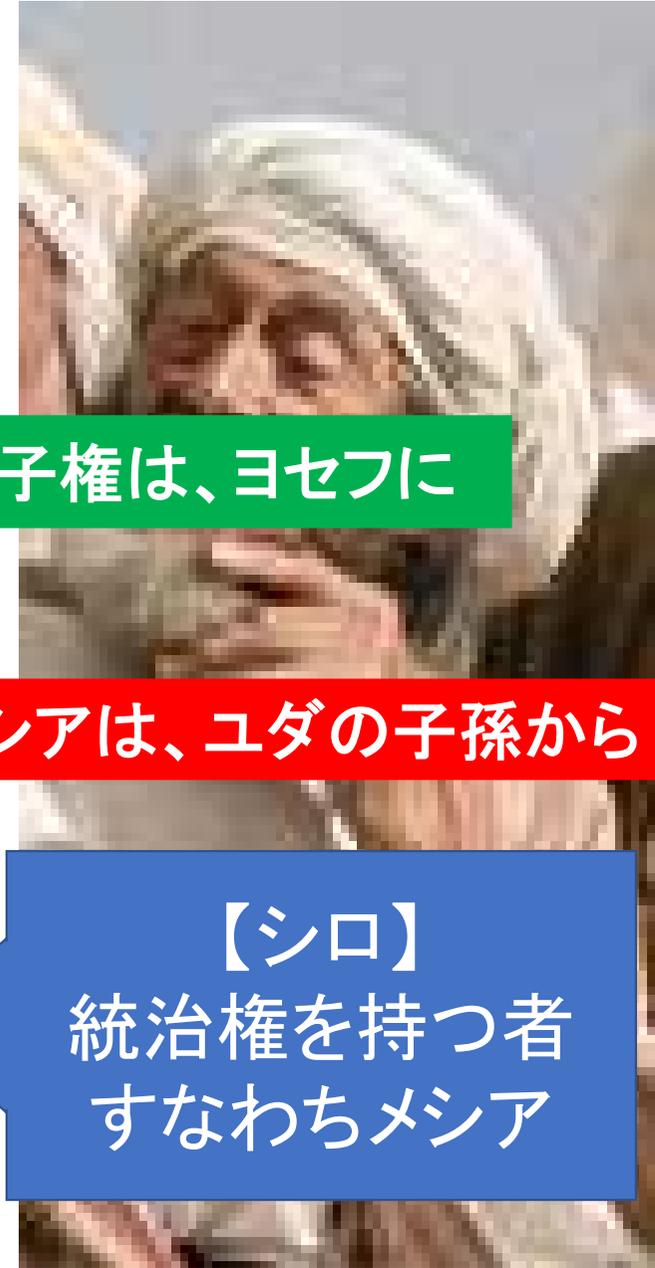
長子権は、ヨセフに

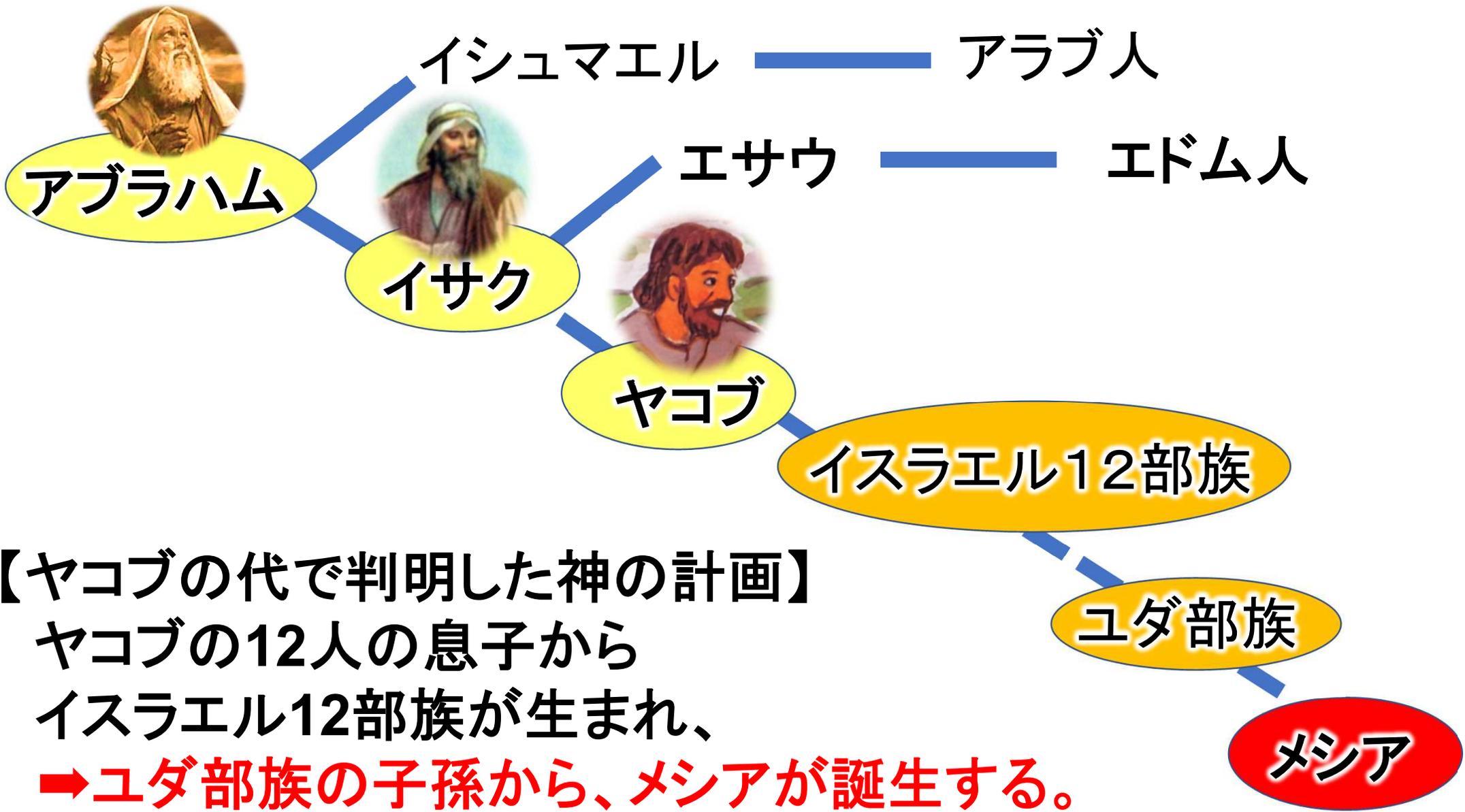
②悔い改めたユダの子孫から、王家が生まれ、メシアが誕生することが預言された。

メシアは、ユダの子孫から

「王権はユダを離れず、統治者の杖はその足の間を離れることはない。ついにはシロが来て、国々の民は彼に従う。創49:10」

【シロ】
統治権を持つ者
すなわちメシア





【ヤコブの代で判明した神の計画】

ヤコブの12人の息子から
イスラエル12部族が生まれ、

➡ユダ部族の子孫から、メシアが誕生する。

【主イエスは、すべての人を救いに導く】
「地上のすべての民族は、あなたとあなたの
子孫によって祝福される。創28:14」

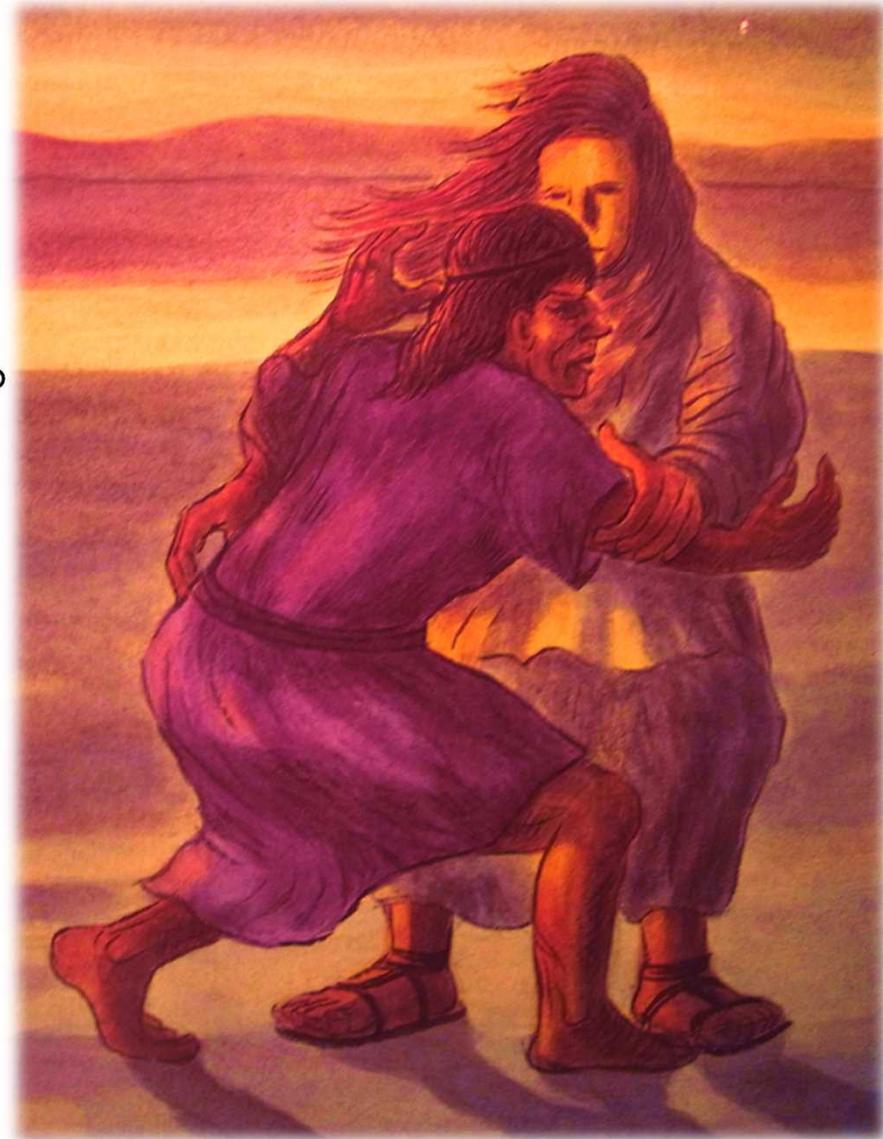
- アブラハム ➡ イサク ➡ ヤコブと
受け継がれた、全民族の救いの約束。
- その成就が、イエス・キリストの十字架。
主イエスこそ、天の父に至る唯一の道。

「イエスは言われた。『わたしは道であり、
真理であり、命である。わたしを通らなければ、
だれも父のもとに行くことができない。』
ヨハネ3・16」



【ヤコブの生涯の土台は、主への信頼】

- ヤコブは兄と争い、伯父と争った。
- そして、神であるメシアとの格闘の末、ヤコブは、神にすべてを委ね、信頼した。
- そして、「イスラエル(神が戦われる)」という名前を与えられた。
- ヤコブの生涯とは、必ず約束を果たされる、主への信頼を試され、成長させられる時だった。



【聖書の教える祈りの原則 ヤコブのように神と共に戦われるために】

① 叶えられるのは、神の御心に適った祈り。

② 祈りのために、神の御心を知る必要がある。

③ 神の契約について知る必要がある。

すると、**神の計画**が分かってくる。

神の性質が分かってくる。

すなわち、**聖書がよく分かると。**

的確に祈れるようになる。



信仰の成長と
信仰生活の
充実のため、
学びを重ねていこう